「寺子屋教育」実践の機会生かす

北海道短期大学

専修大学北海道短期大学「ホームページ」 http://www.senshu-hc.ac.jp

代表電話番号 0126(63)4321
代表FAX番号 0126(63)3097

2011 年頭の抱負

専修大学北海道短期大学長
寺本　千名夫

教職員一丸で最大限支援

新年おめでとうございます。

昨年は、学生募集停止が決定し、本学にとりまして大変厳しい年となりました。多くの学生、卒業生、ご父母、地域の皆さまの心に傷を残してしまいました。私たち教職員にとりましても同様でございまして、生涯忘れられないであろう1年となってしまいました。責任者として深くお詫び申し上げます。

しかしながら、私たちは悲しんでばかりいられません。新年を迎えて、どのような状況であろうと、在学生の皆さんの教育に全力を尽くすことが私どもの責務であると考えております。今年の4月からは残念ながら2年次生のみとなり、授業、さまざまな学校行事の運営の点では寂しくなるのですが、本学が以前から取り組んできた「寺子屋教育」のような少人数教育の実践にとっては、格好の機会だと考えます。そういう気持ちで在学生の教育に全力を尽くしたいと考えております。

「みどりの総合科学科」では、実習・実験・現地見学などを中心とした授業を展開しながら、「測量士補」、「農業機械士」、「2級造園施工管理士」などの資格取得のための支援を強化していきたいと考えています。そのことが、地域社会、企業などが求めている、即戦力としての人材育成になるのではないかと思われます。また、同学科も編入学希望者が増加しており、特に、国公立大学への希望者が多くなっております。公務員対策など同じような特別対策が採れないかどうか、検討に入りたいと考えています。

「商経社会総合学科」では、従来通り専修大学、石巻専修大学をはじめとする4年制大学への編入学教育に力を注いでいきます。昨年度の専修大学への編入合格率は学部によってバラツキがありました。今年度は、そのようなことがないように努力して参ります。具体的な方策として、模擬試験回数の増加、補習授業の実施、ゼミナールでの支援などが考えられます。また、就職希望者に対しては、きわめて厳しい時代であることを踏まえて、一緒に開拓することに力を入れたいと考えております。

また、昨年度、留学生が編入学試験で苦戦しました。具体的には設問が理解できない、小論文、面接でうまく表現ができなかったなどです。端的にいえば、日本語能力の向上が不可欠であり、積極的な支援が必要です。さらに、学習面だけではなく、自治会のさまざまな活動へも支援も必要です。地域のイベント等へのジョイントの後押し、体育祭での教員チームの結成なども考えられます。

以上のように、教職員一丸となって在学生の教育に最大限の支援をしていきたいと考えております。

地域事業への協力も継続

最後に、専修大学校友会、本学同窓会、地域の皆さんに対しても、これまで通り、本学が担ってきました役割はしっかりと継続したいと考えております。特に、地元美唄市への各種委員の派遣、グリーン・ルネサンス推進事業（体験学習の受け入れなど）、ハスカップ関連事業への協力はしっかりと果たしていきたいと考えております。

ご父母の皆さまをはじめ、高大連携校、在学生の出身高等学校各位、地域の皆さまには、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

学生部主催「スキー・スノボーを楽しもうツアー」

▶ 学生・教職員合わせて27人が参加

絶好のコンディション
初滑りを満喫
札幌国際スキー場で

学生部が主催する「スキー・スノーボードを楽しもうツアー」が12月17日、学生・教職員合わせて27人が参加して開催された。同ツアーは北海道の風土や文化を体感してもらおうと行われているバスツアーの一つ。例年に比べ積雪が少なく、美唄市を含む空知地方でスキー場のオープンが遅れたなか、学生たちは札幌市南区定山渓にある札幌国際スキー場へ。初心者用から上級者用まで7コースが設置された同スキー場で約5時間にわたり、今シーズンの初滑りを満喫した。

▶ 思い思いにスキーを楽しんだ

当日は時折晴れ間がのぞく穏やかな天候に恵まれ、前日の降雪もあり、絶好のコンディションだった。山頂付近から石狩湾を臨むことができる雄大な展望を眺めつつ、北海道独特のパウダースノーを楽しむ学生や、友だちにアドバイスを受けながらスキー、スノーボードに初挑戦する学生もおり、思い思いにウインタースポーツをたんのうした。参加者からは「キャンパススキー場で練習して、また来たい」「雪質が最高でした。道内ほかのスキー場にも行ってみたい」などの感想が寄せられた。

キャンパスゲレンデがオープン
「スキー集中授業」開く
SAJ認定2、3級検定合格目指す

▶ 簡易リフトの運行も順調

キャンパスゲレンデが1月12日にオープンし、学生たちがスキーやスノーボードを楽しんでいる。今季は10月下旬に初雪を観測したが、以降の積雪が遅れ、オープンはこの日に延期された。同ゲレンデは2月9日まで学生のほか、一般の方にも開放される。

また、1月12日から14日まで、キャンパスゲレンデで「スキー集中授業」が開講された。学生たちはSAJ（全日本スキー連盟）の指導員から指導を受けながらSAJ認定2、3級スキー検定の合格を目指し、熱心に技術を学んだ。同検定は1月26日から3日間にわたり、実施される。

ウインターフェスティバル
2月5日(土)開催

「平成22年度ウインターフェスティバル」（学生自治会主催）が2月5日(土)、9時から開催されます。

「雪上サッカー」「雪合戦」「雪上ソフトバレー」「スノーフラッグ」の4種目を実施予定で、各競技の入賞チームには景品を用意。また、当日は昼食にカレーライスを振る舞います。

学生柔道連盟の海外研修団
山形優斗主将が参加
3月、フランスで国際交流

◀ 山形優斗主将

柔道を通して見聞を広め、国際性を身に着けることを目的に実施される「2010年度㈳全日本学生柔道連盟海外研修」の研修団の一員に、このほど、柔道部の山形優斗主将（みどり2・北海道札幌山の手高）が選抜された。

同研修団には連盟役員のほか、全国各地区の学生連盟に所属する学生21人が参加。

3月6日から15日までフランスに滞在し、プロバンス地区での合同練習やフランス柔道連盟の訪問などを行い、国際交流と親善を深める。

山形さんは主将としてチームをけん引し、北海道地区大学体育大会の団体初優勝に貢献。個人では北海道学生柔道体重別選手権の73kg級でベスト8入りするなど、各大会での健闘が評価された。

渡欧を控え「自分は団員で最年少なので、不安もありますが、欧州の選手との対戦は楽しみです。時間があればパリ市内を見学したいです」と意気込みを話している。